



TITLE:

外国からの文献の入手について

AUTHOR(S):

---

CITATION:

外国からの文献の入手について. 静脩 1984, 20(2): 7-8

ISSUE DATE:

1984-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/36925>

RIGHT:

## 外国からの文献の入手について

国際化時代に対応するため、一昨年10月本館にテレックスが設置され、研究者の要請に応じ海外との学術情報交流に使用している。

一方、国内の大学、研究機関に所蔵されていない学術文献を海外から取寄せる業務は、既に1960年代から国際交換業務の一環として、閲覧課参考掛が担当してきており、教官、大学院生に広く利用されている。しかし、このサービスについてあまり知られていない面もあるので、あらためて紹介することにする。

現在、主な依頼先としては次のような機関がある：

米国：U.S. Library of Congress (Washington). Princeton University. Yale University. Harvard University 他.

英国：British Library (本館ではクーポン券による BLLD への依頼は行っていない) Oxford University 他.

ドイツ：Universität Tübingen. Universität Köln. Universität Göttingen. Universität München. Staatsbibliothek Preussischer Kulturbesitz (Berlin) 他.

フランス：Bibliothèque Nationale (Paris) 他.

オーストリア：Universität Wien 他.

スウェーデン：Uppsala Universitet 他.

### 申込方法

所定の用紙に必要事項（依頼機関、書名又は雑誌名、著者名、論題、範囲、出版地、出版者、出版年など）を記入し参考掛に申込む。

### 注意事項

- a. 雑誌掲載論文の一部分を申込む場合 フランスの場合は著作権保持者への written permission が必要である。
- b. 一次資料の全冊コピーの場合 著作権保護外の刊年の古いものも含めて、一応全部理由書を添付する必要がある。
- c. 学位論文 アメリカの大学に提出される学位論文は、「静脩」に既報の世界学位論文抄録

(DAI : Dissertation Abstract International, A. B. 1968-C: ヨーロッパ篇1976-)に収録されているもののうち order number のあるものについては、国内の取扱い業者から入手することができ、自然科学系については、国会図書館にも保管されているので、科学技術調査室一覽で所蔵を確認の上利用することが出来る。総合学位論文索引 (CDI : Comprehensive Dissertation Index) も1861~1972, 1973-1977, 1978 supplement の累積索引が出ているので適及的に検索できる。学位論文の依頼は、アメリカに限らず他の国への要求も多いが、殆んど論文が提出された大学への依頼が大部分を占める。イギリスの場合は著者の許可が必要である。

### 経費負担

原則的に私費に限っている。

### 費用

ゼロックスコピーの場合、本のサイズにより料金が計算される。（たとえば大学によって、1枚 A 4 : 20ペーニツヒ、A 3 : 40ペーニツヒなど）。枚数にかかわらず minimum charge を請求される。調査料として1件ごとに search fee が加算される機関もある。

### 所要日数

ドイツは大体1か月~1か月半位で入手出来、比較的早い。最近、Washington D.C. の The American University にはじめて依頼したが、8月4日付で依頼し8月29日に入手した。これは例外でアメリカの場合、私学の方が早い。テレックス通信を利用すれば、入手までの時間は相当に短縮されるはずである。

外国への文献依頼は、国内に該当する文献がないことが前提となるので、事前に国内での所在調査を十分行なわなければならない。このため、書誌情報の把握、全国書誌、所蔵目録など二次資料による確認は重要な業務である。また依頼先選定についても同様である。今年四月にオープンする

新館には、コンピューターによる情報流通のネットワークを形成することが期待されている。幅広いデータベースシステムの具備による迅速、適確な書誌情報の探索が可能になれば、外国からの文

献の入手にも影響をおよぼすのではないだろうか。

(参考掛・尾崎富美枝)

## 古文書の取扱いに関する講習会ひらく

附属図書館では、本学の図書系職員を対象に、古文書の取り扱いに関する知識の修得ならびに資料の取り扱い技術の向上をはかるため、下記により『古文書の取扱いに関する講習会』を開催した。

記

日時 昭和58年8月8日(金)

午後1時30分～4時30分

会場 理学部1号館共同小講義室

内容 講演ならびに和装本、卷子本、一枚物等の取扱い等についての  
実習

講師 神戸大学 熱田 公教授